



今年度を振り返って

まずはこの一年、大きな事故や怪我も無く、本校の幼児児童生徒の皆さんが成長し、無事に学業を終えることができたことに安心しております。今年度は、この十年ほどで最長最強の寒波がありました。そのような中でも、下記記事にもありますが、素晴らしい活躍と実績を残すことができました。これもひとえに子供たちを大きな愛情を持って支えてくださった保護者の皆さまのご協力とご理解のおかげです。心より感謝申し上げます。

さて、三学期も残すところあと数日・一週間で終了を迎えます。各学年及び学級においては、子どもたちと今年度の振り返りを行うと共に、次年度への進級・進学・就労へ向け、次のステップに向けた準備が進められています。ご家庭におかれましても、ぜひお子様と今年度の成長と次年度の抱負について話題を挙げていただくようお願いいたします。

幼稚部7名の成長！

幼稚部棟では7名の幼児が、毎日生き生きと活動しています。先生のピアノのリズムに合わせて集まったり、椅子に座って絵本に注目したり、集団活動にも少しずつ参加できるようになりました。また、先生やお友だちとの関わりも深まり、「一緒に遊びたい」と誘い合う姿も多く見られるようになっていきます。

保育参加を通して、保護者の皆さんにもたくさんの協力を得ながら、一年間の学びを積み上げることができました。これからの成長がますます楽しみです。



体験を通して学びを深める子どもたち(小学部)

小学部では学年を分けて授業参観を分散で行っています。毎回、多くの保護者の来校により学習活動も活気づいております。ありがとうございます。

小学部1学年は「転がしドッチボール」、3年生は「もちつき」を親子で体験しました。いつも以上に生き生きと笑顔で楽しむ様子が見られました。

体を大きく動かす粗大運動は、子どもたちの体幹を鍛えます。重たい杵をもって力いっぱいモチをつく動きは、バランス感覚や力加減をコントロールする体験にもなりますね。体験を通し学ぶことはたくさんあります。

大好きな家族と一緒に経験することで、うれしい気持ちと一緒に学びも深まっています。

また、学年別に実施した校外学習では、目的地へ出かけるためのマナーやルールを確認し、集団行動を心掛けながら安全に帰校することができました。先生の話をしっかり聞いて、お友達と関わりながら地域へ出かける楽しさや発見をとおして、様々な学びがあったと思います。生活経験や体験から得られる刺激は、学んだことを深める上でも、子どもの発達においても、大切な学習となります。



駅伝大会、見事優勝！選手の奮闘・熱い応援(中学部・高等部・分教室)

2月7日に行われた沖縄県特別支援学校駅伝大会は、寒さの厳しい中、行われました。本校からも中学部2チーム、高等部とセンター分教室の合同2チーム、美里分教室1チームが出場。日々の体力づくりの中で鍛えた走りを、県内の特別支援学校(離島含む)・高等支援学校の選手と競いました。自己ベストを目指して走る選手の姿は、応援する側にも熱い闘志が伝わるものとなりました。声援を送って下さった保護者の皆さまにも、お礼申し上げます。

沖縄タイムス紙(2月20日掲載)では、高等部の代表選手の写真と中学部で応援する生徒のコメントが掲載され、誇らしい気持ちで記事を読みました。応援に駆け付けた生徒の中には、路線バスを活用して帰校する学級もあったようです。こうした学びも、生活する力の向上につながっていきますね。様々な経験・体験をとおして、一人一人が成長していく姿をうれしく思います。区間賞(1位~3位)では、中学部5名、高等部4名が受賞しました。おめでとうございます。

【結果】 中学部 Aチーム優勝 Bチーム5位 高等部 Aチーム3位 Bチーム11位



挑戦する姿

美咲特別支援学校は分教室も含め、403名が在籍しています。日々の学習を積み重ねながら、機会を見つけて、検定や資格取得、作品応募といった形で挑戦する子どもたちが、大勢います。ご家庭の協力、先生方のご指導、ありがとうございます。挑戦したみなさん、よくがんばりました！



- 日本漢字協会検定(小中高)30名受験(1月)
 - 危険物取扱者試験 乙・丙種(センター分教室)1名
 - アーク溶接(美里/センター分教室)各1名
 - 子育て支援員(センター分教室)2名
 - デュアルシステム型実習(美里分教室)
1・2年生を対象に地域企業で実施
 - 流通サービス 校内販売(美里分教室)
 - 介護入門研修(センター分教室)2名
 - 教育版画コンクール(小学部)
・特選1名、佳作3名、入選65名
 - 技能検定(高:本校/美里/センター分教室)
・メンテナンス部門
・喫茶部門
・パソコン部門
- 1年を通して、143名の生徒が挑戦しました(複数受検含む)



外部講師を活用した講話

高等部・分教室では、生徒たちに社会生活に向けた情報を専門家による講師を活用して学習しています。マスコットキャラクターが現れたり、1億円の重さを実際に体験したり、講師に自ら質問して理解を深める様子も見られました。音楽鑑賞会では沖縄盲学校出身でプロの演奏家大城友弥さんを招き大盛況となりました。

- サイバー犯罪防止
- 薬物乱用防止教室
- 消費者教育講話
- ハローワーク沖縄(出前講座)
- 音楽鑑賞会
- 少年犯罪防止教室
- 高等部保護者向け
(就労継続支援に向けた説明会)



児童会役員選挙・生徒会役員選挙

次年度に向け、小学部・中学部・高等部で役員選挙が行われています。自分が掲げる「こんな学校にしたい」という思いを、一生懸命伝える姿が印象に残っています。

役員となった児童生徒は認証式を終えたのち、代表として活躍します。みなさんに期待していますよ！



居住地校交流

1年間を通して、希望する幼児児童生徒が地域の幼稚園、小学校、中学校で居住地校交流を行っています。交流のスタイルは、数回に渡るケース、1日、数時間のみ等、児童に応じて、地域の同級生との関わりを深めています。交流に向かう前、終えた後の表情には、きっと変化も見られたと思います。相手校の皆さんと関わる中で、相互に経験・学びを深める機会を今後も大切にしたいと思います。

交流及び共同学習

インクルーシブ教育の推進、共生社会を目指し、交流及び共同学習に取り組んでいます。

今年度は、学部・学年単位で、幼稚部2校、小学部3校、中学部1校、高等部1校、分教室3校計10校と9回実施しました。

交流先は下記のとおりです。

美原幼稚園・美里幼稚園・美原小学校
与勝緑ヶ丘中学校・美来工科高等学校
嘉手納高等学校・コザ高等学校・美里高等学校

中堅教諭の研修会報告会

2月18日に本校で8名の中堅教諭が、それぞれ1年間取り組んだテーマについて報告を行いました。

先生方の報告は、図工や自立活動の指導でICTを活用した実践、子どもに寄り添いながら学びを深める実践、健康を育む実践、指導と評価の一体化を目指した外国語や算数での実践、学習環境を整え、学びの充実を図る実践など多岐に渡る内容でした。どの報告からも、児童生徒の表情や指導の工夫が伝わり、校内の先生方と共有する有意義な時間となりました。

教育論文で優秀賞を受賞した先生、特別支援学校研究大会で事例報告を行った先生、琉球大学で研究成果を発表する先生等、多くの先生方が、指導の充実を目指し、日々研鑽を積んでいます。



面談参加、ありがとうございました

1年の振り返り、次年度(卒業後)に向けて、児童生徒、保護者、先生方が話し合う面談期間が終わりました。

お忙しい中、時間を作って頂き、ありがとうございます。

一人一人の成長を確認すると共に、次はどういう姿を目指していこう、どうステップを踏んでいこう、関係機関との連携はどのように図ろうか等、様々な視点で話し合いが行われたと思います。4月当初に見られた姿と今では、体も心もずいぶん変化したのではないのでしょうか。

節目節目のふり振り返りから見える子ども達の成長と、ご家庭の協力に感謝申し上げます。

卒業式・修了式まで

各学部の卒業式・修了式まで残りわずかとなりました。学校生活の節目を迎えるにあたり、気持ちの変化は大きいものです。特に卒業生においては、次のステップに向けて、期待や不安の入り交じる複雑な気持ちと向き合っているとします。そして、それを乗り越えようとしています。

「きれいに 咲こうよ 咲かそうよ」は、美咲のキャッチフレーズです。この言葉には子どもたちが、自ら花を咲かせようとする主体性を支援するという教育活動の思いが込められています。

桜の花も見頃を迎えました。一人一人の今年の花がどのように咲き誇っているか、楽しみな季節を迎えます。